

奇想天外なアイデアで ステージを沸かせる

舞台が真っ赤な炎や煙に包まれたり、大海原が出現したり、人が空中に飛び上がったり…。舞台やコンサート、映画やテレビなどエンターテインメントの世界で、常に新しい小道具や特殊効果を考え続けて30年、アトリエ・カオスは誰も考えなかった発想でステージを盛り上げます。

松任谷由実さんのコンサートでは、初めてフライング(宙のり)を実現しました。またこれがきっかけで当時は右も左もわからなかった歌舞伎の仕事にも携わるようになり、役者と馬と一緒にフライングさせたり、多人数を一度にフライングさせたりと、伝統の世界に斬新な演出を取り入れるお手伝いもしています。

納得のいく仕事で役者さんやアーティストの方に認められた時はもちろんうれしいのですが、一番うれしいのは何よりも観客の皆さんが、私たちの仕掛けや効果で沸き上がった時です。その感動を得るために、アトリエ・カオスは今日も新たな驚きに挑戦しています。



歌舞伎公演で使われた全長10メートルのクジラ。照明やシャボン玉マシンを使って海中シーンを再現し、潮を噴き上げる仕掛けもある



「自分の作ったものが舞台上で使われるのがうれしい」作業は大変だが活気あふれる制作現場

ここがすごい!!

「できません」とは絶対に言わない

「ステージは異次元空間だからアイデア次第で何でもあります」と話す田中義彦代表取締役。客席を水浸しにすることはあり得ないが、大量のドライアイスの煙を一度に客席に流せば洪水の演出ができます。舞台に火はつけられないが、スモークを送風機であおって斜めから照明を当てれば迫力のある炎だって作れます。

「できません」と言ってしまったら話はそこで終わり。今までの経験と新しいアイデアを組み合わせる「できる」に変えてみせるのがアトリエ・カオスの仕事です。



芝居で役者が着る軽量の鎧。光沢や質感はまるで重厚な金属製のよう

有限会社アトリエ・カオス

代表者 田中 義彦
所在地 世田谷区八幡山1-1-15
設立 昭和59年(1984年)
主な事業 映画、ステージ等の特殊美術製作
連絡先 ☎03-3303-7770



VOICE

好奇心でのぞいた美大生のたまり場が原点



田中 義彦代表取締役

中学生のころにおもしろがって通っていた美大生が集まる共同アトリエ。そこへ行って仕事を手伝うことが、何かワクワクして好きでした。「好き」は何かを始めるきっかけであり、続けるパワーにもなります。続けていけば開ける道もあります。